

| | | | | | |
|-------|---|-----|------|------|-----------|
| 課題番号 | 7 | 分野名 | 木材加工 | 予算区分 | 県単 |
| 研究課題名 | 内装用板系材の品質・精度に有効な乾燥法の開発 (ステッカーマークの残存しない乾燥法(スギ赤身材を意識した研究)) | | | | |
| 担当者名 | 亀山 雄揮・篠崎 武彦・安藤 康裕・大塚 紘平 | | | 研究期間 | 平成21～25年度 |

緒言

新たな乾燥法の開発により、特に本県の特徴である素材の良さを活かした、スギ・ヒノキ無垢材製品の精度・品質の向上、規格安定性の確保、用途部位の拡大に寄与するものであり、さらに化粧材ということで今後増大傾向となる中目材の利用促進にもつながる、高度な乾燥技術の定着と高品質な乾燥材生産の促進に資するものである。

1 材料と方法

スギの赤身板材を乾球温度60 未満、湿球温度を調整しながら人工乾燥を行ったが、ステッカーマークの残存しない乾燥法は未完成である(継続中)。

なお、ステッカーマークには、乾燥直後に発生するものと、時間が経過してから発生するものがあるため昨年度に引き続き、乾燥直後に発生した材について目視及び色差計(ミノルタ社製CR-300)を用い、L*a*b*表色系にて色彩値を測定、変化を調査した。

2 結果概要

目視確認; 2ヶ月经過で全体的に色合いが変化し、ステッカーマークが目立たなくなることが確認できた。

